

習志野市子どもの読書活動推進計画における取組内容

アンケート結果等を踏まえた主な課題から

- 読書の面白さや、おすすめの本、各種イベントの情報などの情報発信により
学校図書館や市立図書館の利用頻度を上げること

現状

- 1 国語科学習の充実(学校)
ビブリオバトルや本の帯づくり等、多くの本に出合うための教育活動を実践している。
- 2 様々な場面における本の紹介(学校)
給食献立とのコラボ、図書委員会や図書だより、読書月間(週間)の設定等、各校工夫している。
地域ボランティアによる読み聞かせやブックトークを行い、選書の幅を広げている。
- 3 学校図書主任会議・学校司書研修の実施(指導課)
各学校での取組について情報共有を行い、活動の活性化を図っている。

今後の取組

- 1 学校図書館の活用拡充(学校)
 - ①「情報センター」「学習センター」としての機能を働かせられるよう、全教科を通しての活用を促進する。
 - ②開館時間の延長を図る。
- 2 学校図書館の整備(学校司書・学校図書主任)
 - ①学校図書館使用ガイダンスを充実させる。
 - ②興味をもたせるための掲示物等を工夫する。
- 3 タブレット端末の活用について研究(指導課)
 - ①電子図書の貸出、活用について研究を進める。
- 4 好事例の紹介(指導課)
 - ①「特色ある学校づくり」事業において、市立図書館との連携や学校図書館の活性化について研究指定を行い、研究結果を市内に発信する。
 - ②学校図書主任会議、学校司書研修等を通して、活性化につながる事例を引き続き紹介していく。